

【令和8年度 政策・調整会議】

件名：浮島1期地区活用検討にあたっての基本的な考え方について

開催日：令和8年5月19日（火）

●付議理由

浮島1期地区土地利用基本方針の中長期スケジュールの期限を迎える中、浮島1期地区全体の土地活用検討にあたっての基本的な考え方を報告するもの。

●付議概要

浮島1期地区活用検討にあたっての基本的な考え方について報告する。

<報告内容>

1 これまでの経過

- ・平成28年3月に「浮島1期地区土地利用基本方針」を策定
- ・基本方針策定後も種々の課題を背景に低未利用な状況が継続

2 事業を取り巻く状況変化

- (1) 浮島1期地区周辺のプロジェットの進展
 - ・交通インフラ整備の進展等により浮島1期地区へのアクセス性が向上
- (2) 国等の動向
 - ・「PORT2030」において、港湾行政における政策の柱が位置づけられる
 - ・環境基本計画において環境施策の統合的推進の必要性が示される
- (3) 本市の関連施策
 - ・「川崎市みどりの将来像」において、川崎臨海部における取組の方向性が位置づけ等

3 民間事業者へのヒアリング等の実施について

- ・浮島1期地区について多くのポテンシャルが挙げられ、エリア全体のイメージを一新する新たな価値創出の可能性が示唆

4 浮島1期地区活用検討にあたっての基本的な考え方

- ①事業を取り巻く状況変化を踏まえ、基本方針の改定を視野に入れ、活用に向けた検討を推進
- ②陸海空の交通結節点を最大限活かすための検討を推進
- ③ネイチャーポジティブやサーキュラーエコノミーの観点を含めた環境施策の統合的推進と「みどりの将来像」の実現
- ④民間事業者の参入も視野に入れた活用しやすい環境の整備

●結論

付議概要のとおり報告。